



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和4年7月発表

概況

1. 旅客輸送

令和4年4月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比7.1%増、対2019年同月比20.2%減、地下鉄で対前年同月比7.6%増、対2019年同月比13.6%減、路面電車で対前年同月比12.2%増、対2019年同月比17.4%減となった。

令和4年3月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比0.8%増、対2019年同月比20.8%減、貸切バスで対前年同月比3.7%増、対2019年同月比53.0%減となった。

令和4年3月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比5.6%減、対2019年同月比38.0%減となった。

2. 貨物輸送

令和4年4月のトラック(一般貨物)の輸送量は、対前年同月比13.6%増、対2019年同月比9.0%減となった。

令和4年4月の港湾運送(内航)の輸送量は、対前年同月比4.2%増となった。また、対2019年同月比は5.7%増となった。

3. 観光

令和4年4月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比44.3%増となった。また、対2019年同月比は23.3%減となった。

4. 車両数

令和4年5月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車(普通・小型)は13.8%減、乗用自動車(軽)は26.3%減、貨物自動車は4.5%減、貨物自動車(軽)は21.4%減となった。

また、対2019年同月比について、乗用自動車(普通・小型)は36.0%減、乗用自動車(軽)は35.1%減、貨物自動車は20.6%減、貨物自動車(軽)は19.6%減となった。

北海道運輸局

交通政策部 交通企画課






〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2721

FAX 011-290-2716

<https://www.ttb.mlit.go.jp/hokkaido/>






1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	7.1	2.0	▲ 9.0
	地下鉄	7.6	5.9	5.3
	路面電車	12.2	12.5	7.4
	乗合バス	0.8	▲ 12.2	▲ 0.6
	貸切バス	3.7	▲ 7.9	14.6
	ハイヤー・タクシー	▲ 5.6	▲ 25.0	6.9
	内航フェリー	25.5	5.6	3.8
	外航フェリー	-	-	-
	国内線	63.9	48.6	59.6
	国際線	-	-	-

<凡例>

「当月」はR4.5	「当月」はR4.4	「当月」はR4.3
-----------	-----------	-----------



2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	▲ 14.1	▲ 6.1	▲ 31.4
	特別積合	0.7	2.2	▲ 0.6
	一般貨物	13.6	▲ 13.1	▲ 10.8
	ターミナル	3.1	▲ 2.5	▲ 0.2
	内航	4.2	▲ 2.1	0.7
	外航	13.0	▲ 21.7	15.1
	内航コンテナ	▲ 3.8	▲ 1.1	▲ 1.9
	外航コンテナ	6.3	▲ 22.2	7.3
	海峡	5.0	9.5	5.9
	中・長距離	▲ 1.8	3.1	4.7
	国内線	11.1	5.7	22.1
	国際線	▲ 68.5	▲ 73.4	▲ 63.2
	普通倉庫	23.5	12.5	25.4
	貯蔵槽倉庫	49.3	9.3	36.2
	冷蔵倉庫	▲ 1.5	1.5	11.6

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	44.3	32.3	44.3

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	▲ 13.8	▲ 2.3	▲ 12.5
	新規届出(軽自動車)	▲ 26.3	▲ 15.6	▲ 24.8
	新規登録(貨物)	▲ 4.5	▲ 17.4	▲ 24.6
	新規届出(軽自動車)	▲ 21.4	▲ 13.2	▲ 2.8

※ 詳細は「モード別実績」のとおり






※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
 今月掲載データは令和3年度第4四半期(令和4年1月~令和4年3月)分

目 次




I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		

I. 概況

1. 旅客輸送





	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比7.1%増、このうち北海道新幹線の輸送人員は同54.4%増となった。また、対2019年同月比は20.2%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同49.4%減となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月比7.6%増、このうち定期旅客は同1.5%増、定期外旅客は同11.1%増となった。また、対2019年同月比は13.6%減、このうち定期旅客は同11.3%減、定期外旅客は同14.8%減となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比12.2%増、このうち札幌市は同10.6%増、函館市は同14.9%増となった。また、対2019年同月比は17.4%減、このうち札幌市は同13.2%減、函館市は同23.4%減となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比0.8%増、このうち定期旅客は同4.5%減、定期外旅客は同2.0%増となった。また、対2019年同月比は20.8%減、このうち定期旅客は同21.4%減、定期外旅客は同20.6%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比3.7%増となった。また、対2019年同月比は53.0%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比5.6%減、このうち札幌交通圏は同4.6%減となった。また、対2019年同月比は38.0%減、このうち札幌交通圏は同36.6%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比25.5%増、このうち道内相互間は同9.1%増、道内一道外間は同28.5%増となった。また、対2019年同月比は36.3%減、このうち道内相互間は同41.4%減、道内一道外間は同35.4%減となった。
	外航フェリー	・外航フェリーの運航実績はなかった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比63.9%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同52.9%増となった。また、対2019年同月比は35.8%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同40.4%減となった。
	国際線	・国際線の運航実績はなかった。

2. 貨物輸送


	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比14.1%減となった。また、対2019年同月比は17.3%減となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.7%増、このうち宅配貨物取扱い個数は同9.4%増となった。また、対2019年同月比は2.2%増、このうち宅配貨物取扱い個数は同37.5%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比13.6%増となった。また、対2019年同月比は9.0%減となった。
	ターミナル	・北海道トラックターミナル(株)における取扱い輸送量は、対前年同月比3.1%増となった。また、対2019年同月比は4.3%増となった。
	内航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比4.2%増となった。このうち移出は同2.5%増、移入は同5.7%増となった。また、対2019年同月比は5.7%増、このうち移出は同4.7%増、移入は同6.7%増となった。
	外航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比13.0%増、このうち輸出は同4.4%増、輸入は同15.0%増となった。また、対2019年同月比は10.7%増、このうち輸出は同8.9%減、輸入は同16.1%増となった。

<凡例>



R4.5	R4.4	R4.3
------	------	------

	内航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比3.8%減となった。また、対2019年同月比は7.0%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比6.3%増となった。また、対2019年同月比は7.3%減となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比5.0%増、このうち下りは同6.6%増、上りは3.4%増となった。また、対2019年同月比は2.2%増、このうち下りは増減なし、上りは同4.4%増となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比1.8%減、このうち下りは同3.7%減、上りは同0.4%増となった。また、対2019年同月比は0.2%増、このうち下りは同0.9%減、上りは同1.5%増となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比11.1%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同6.1%増となった。また、対2019年同月比は27.5%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同32.2%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比68.5%減、このうち定期便及びチャーター便は同91.7%減、保税運送物は同42.1%増となった。また、対2019年同月比は57.9%減、このうち定期便及びチャーター便は同90.4%減、保税運送物は同594.8%増となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比23.5%増、保管高は同1.4%増、当期末の利用率は82.1%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は32.8%増、保管高は3.0%減となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比49.3%増、保管高は同4.9%減、当期末の利用率は67.6%となった。また、対2019年同月比は、入庫高23.1%増、保管高は10.7%増となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比1.5%減、保管高は同4.8%減、当期末の利用率は27.9%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は8.3%減、保管高は11.0%減となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比44.3%増、このうち日本人は同44.3%増、外国人は同72.6%増となった。また、対2019年同月比は23.3%減、このうち日本人は同5.7%減、外国人は同99.4%減となった。
---	--------	---

4. 車両数

	新規登録(乗用)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比13.8%減となった。また、対2019年同月比は36.0%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、対前年同月比0.7%減となった。また、対2019年同月比は2.0%減となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比26.3%減となった。また、対2019年同月比は35.1%減となった。
	新規登録(貨物)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比4.5%減となった。また、対2019年同月比は20.6%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、対前年同月比0.6%増となった。また、対2019年同月比は2.3%増となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比21.4%減となった。また、対2019年同月比は19.6%減となった。